

ミライのフツー☆チャレンジコンテスト

3月15日に豊田市で「ミライのフツー☆チャレンジコンテスト」の審査会が行われ、審査員として参加させていただきました。画期的な支援金と提案された事業についてお知らせします。

☆ミライのフツー☆チャレンジコンテストとは？

豊田市が合併して10年。「ミライのフツー☆」には、豊田市の将来を未来志向で捉え、市民共働で取り組む機会として、未来では普通になっているであろうことを市民・事業者・行政が一緒になってつくっていくという意味があるそうです。

(http://city.toyota.aichi.jp/pressrelease/_icsFiles/afieldfile/2014/11/10/boshuyoukou.pdf)

■コンテストの流れ



(豊田市ホームページより)

このコンテストで突出しているのは、支援金で財産となるようなものを購入しても良いこと（3Dプリンターを購入するという団体もありました）、エントリーの前後に「ミライカフェ」に参加することが条件となっていることです。

「ミライカフェ」では、エントリーした団体がお互いを知り、事業提案の参考にしたり、コラボして新たな事業提案につながったりすることを期待していたそうです。実際に4件ほどミライカフェで知った団体とコラボした企画がありました。

☆コンテストでは

40件の応募があり、女性の団体の提案もありました。その中でも、子育てしながら働くことにネガティブになっている専業主婦に自信を取り戻す提案や、多様性について「市民はこう定義してみよう」という提案もありました。

また、合併した旧足助町や旧旭村などからUターンを増やす提案、木材をハンドメイド家具として販売する提案もありました。

いずれの提案も既の実績を積んでいて、さらに発展させようという意気込みがありました。たいへん前向きでどれも実現できそうなものでした。

☆足元の自治体でこんなステキなことが起きていることを知り、また実践している市民の方々の市民度の高さに驚く、刺激的な一日でした。